

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・閉店してシャッターの降りている店舗の改装や開店が続いており、商店街への来客数増加に期待している。
		百貨店（企画担当）	・前年は厳しい水準であり、今後の景気は前年を上回って推移する。
		百貨店（販促担当）	・特選ブランドや高額品の売上は低迷しているが、値下げ商品を買求めるために来客数が増加する。
		スーパー（営業担当）	・製造業の稼働率が回復しており、雇用環境や個人所得の回復が期待できる。
		家電量販店（店長）	・省エネ家電のエコポイント制度の効果により、今後も売上が増加する。
		乗用車販売店（経営者）	・環境対応車への減税や補助金の効果や新型車の発表、さらに新政権の高速道路政策への期待から、年内は販売台数が前年を上回って推移する。
		高級レストラン（支配人）	・法人の利用申込が増加するにつれて、今後は個人客が増加する。
		一般レストラン（経営者）	・来客数の回復傾向が続き、最悪の状態からの脱出に期待できる。
	一般レストラン（スタッフ）	・前年に比べて来客数、売上共に増加傾向が続く。	
	観光名所（職員）	・週末や休日は高速道路料金引下げの効果があり、今後も個人乗船客の増加が見込まれる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・新政権による安定を望んでいるものの、失業率や雇用の先行きに不安があり、今後も消費マインドの低迷は続く。
		商店街（代表者）	・商工会議所がプレミアム付き商品券を発売したため、消費の喚起に期待している。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・タスポ効果が一巡して、売上は底の状況で推移していることから、今後は回復を期待する。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・県知事選挙後の状況変化は予想できないが、現在の厳しい状況は当分続く。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型インフルエンザ関連商品などの売上は期待できるが、その他の商品は売上が低迷し、景気回復の兆しは見当たらない。
		百貨店（売場主任）	・暖冬傾向が予想され、冬物衣料は売上が低迷する。
		百貨店（経営者）	・衣料品部門の売上は前年並みで推移するが、高価格商品の売上は今後も厳しい状況が続く。
		百貨店（経営者）	・景気対策の効果はあるものの、冬のボーナスの増額は期待できないため、当分消費マインドが低迷する。
		スーパー（店長）	・来客数、1品単価共に今後も低迷する。
		スーパー（店長）	・消費者の財布のひもは固くなっており、来客数、客単価、売上共に今後も低迷が続く。
		スーパー（店長）	・消費者の低価格志向が強まっており、当分厳しい状況が続く。
		スーパー（店長）	・競合店の状況も変わらず、景気回復の材料も見当たらず、現状からの回復は当分難しい。
		スーパー（店長）	・競合店の新規出店により、価格競争が激しさを増す。
		スーパー（店長）	・総選挙は終わったが、景気が良くなる要因がみられず、今後も厳しい状況は続く。
		衣料品専門店（経営者）	・話題となる商品もなく、景気回復の兆しが見られない。
		衣料品専門店（経営者）	・景気の低迷は続き、小売業は今後も厳しい状況が続く。新政権の景気対策に期待したい。
衣料品専門店（店長）		・ビジネススーツやカジュアル衣料は景気に左右されるため、今後も売上は安定しない。	
衣料品専門店（総務担当）		・消費者は必要な物だけを購入しており、今後も買上点数、客単価共に低迷が続く。	
家電量販店（店長）	・消費者は買物に慎重で、必要な商品以外は購入しない傾向がしばらく続く。		
乗用車販売店（経営者）	・環境対応車への減税や補助金を利用する客の受注がしばらく続き、年内の売上は前前年並み水準で推移する。		
乗用車販売店（経営者）	・燃料灯油価格の上昇や先行きの不安により、消費マインドの停滞が続く。新政権による中小企業対策に期待したい。		
乗用車販売店（経営者）	・環境対応車への減税や補助金の効果で、年末まで新車販売台数が好調に推移する。		

乗用車販売店（従業員）	・景気が悪くて自動車の販売台数は低迷しているが、環境対応車への減税や補助金を利用する買換え需要は当分続く。
住関連専門店（経営者）	・新政権の景気対策は不透明で、地方経済の低迷は続く。
住関連専門店（経営者）	・所得の減少を理由に、アルバイトやパートを探す人が増加しており、消費の回復には当分時間がかかる。
その他専門店〔呉服〕（経営者）	・依然として消費者の財布のひもは固く、生活必需品ではない呉服の売上は今後も低迷が続く。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・先行きへの不安や冬に備え、消費者の生活防衛志向が強まり、財布のひもは固くなる。
その他専門店〔食品〕（経営者）	・9月の大型連休の効果が続き、本格的な観光シーズンも来客数の増加が期待できる。
その他専門店〔酒〕（営業担当）	・景況回復の兆しはみられず、消費者の動向も現状維持が続く。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・暖冬が予想され、暖房需要の商戦は苦戦するため、今後売上は厳しい状況が続く。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・販売量は変わらないが、利幅が縮小しており、厳しい経営は今後も続く。暫定税率など新政権の政策は先行きに不安がある。
一般レストラン（経営者）	・来月に知事選が予定されており、出控えによる来客数の低迷が予想される。
スナック（経営者）	・景気の悪化により来客数、売上共に今後も低迷する。
その他飲食〔弁当〕（スタッフ）	・低価格の弁当は売れる傾向にあるが、利益が少ないため収益の改善にはつながらない。
観光型ホテル（経営者）	・遠方からの予約客は増加しているものの、地元の利用客が減少しており、売上は前年を下回る見込みである。
観光型ホテル（スタッフ）	・法人客の予約は低迷しているものの、観光シーズンの予約は前年並みに入っている。
観光型旅館（経営者）	・紅葉シーズンの予約は前年並みで推移する。
都市型ホテル（スタッフ）	・新政権の政策実行には時間がかかり、消費者は低迷している景気に不安があるため、今後も消費マインドは低迷する。
都市型ホテル（スタッフ）	・法人客の予約が減少しており、厳しい売上が続く。
タクシー運転手	・景気回復の兆しはみられない。
タクシー運転手	・求職者の増加傾向が続き、今後も個人消費は低迷する。
通信会社（営業担当）	・企業は経費削減を強化しており、消費の回復には時間がかかる。
美容室（経営者）	・新政権の政策実施には時間がかかり、景気の先行きが不透明なため、消費者の買い控えが続く。
美容室（経営者）	・消費マインドの回復には時間がかかり、美容業界の厳しい状況は当分続く。
設計事務所（経営者）	・公共事業が動きだして、設計業務の受注増加を期待する。
やや悪くなる 商店街（代表者）	・景気回復の要因はみあたらず、消費者の低価格志向が強まる。
一般小売店〔茶〕（経営者）	・日帰りの観光客は増加しているものの、宿泊客が減少しているため、売上の減少が懸念される。
一般小売店〔書籍〕（経営者）	・政権交代後の社会不安により、消費マインドが低迷するため、消費者の低価格志向が強まる。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・経済の国際化、政権交代による輸出競争力の弱体化、財政悪化による景気対策縮小など、地方景気に明るい材料はみられない。
一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	・夏のボーナス同様に冬も減額が予想され、個人消費は今後も低迷する。
百貨店（経営者）	・所得水準の低迷や新型インフルエンザ流行の懸念から、消費マインドは低下する。
百貨店（売場担当）	・財布のひもは固く、防寒アイテムは持っているもので済ませるため、冬物においても買い控えが続く。
スーパー（経営者）	・一部工場では稼働率が改善しているものの、多くの工場は低操業が続き、ハローワークへの求職者が増加する。今後も個人所得の減少により、一段と消費者の低価格志向が強まる。
スーパー（総務担当）	・公共工事の効果には時間がかかり、消費マインドの冷え込みにより、景気は当分厳しい状況が続く。
コンビニ（経営者）	・周囲の企業で事務所移転の計画があり、来客数の減少が懸念される。
コンビニ（経営者）	・失業者の増加により、消費支出の減少が続き、今後売上の落ち込みが予想される。

	コンビニ（エリア担当）	・最盛期の夏以降は季節的にも売上が低迷し、景気の悪化による来客数の減少が懸念される。新型インフルエンザの流行など、景気回復の材料はみあたらない。
	コンビニ（店長）	・新政権への期待と不安が消費マインドの向上につながらず、今後も消費の低迷が続く。
	衣料品専門店（経営者）	・新型インフルエンザの流行により、消費者の出控えが続き、売上は減少する。
	衣料品専門店（店長）	・光熱費などの出費が優先されるため、衣料品の売上は低迷する。
	衣料品専門店（店長）	・量販店などで扱う低価格なスーツの品ぞろえが増えており、小規模店は来客数の減少が予想される。
	家電量販店（店長）	・企業の上期決算の状況が悪く、冬のボーナスも減額が予想されるため、今後も消費の低迷が続く。
	住関連専門店（経営者）	・新政権による政策が落ち着くまで、消費マインドは低迷する。
	その他専門店〔パソコン〕（経営者）	・消費者の財布のひもは固くなっており、地方では景気回復に時間がかかる。
	一般レストラン（支配人）	・新型インフルエンザ流行の影響により、今後は来客数の減少が懸念される。
	都市型ホテル（経営者）	・予約状況は各部門とも前年を下回っており、新型インフルエンザの流行による来客数の落ち込みが懸念される。
	都市型ホテル（スタッフ）	・新型インフルエンザの流行が懸念されるため、売上は厳しい状況が続く。
	旅行代理店（店長）	・新型インフルエンザ流行の兆しがみられ、また家庭ではレジャー支出を削減するため、旅行の予約状況は国内、海外共に前年を下回る見込みである。
	遊園地（経営者）	・従業員の家族などで新型インフルエンザ患者が発生しており、冬にかけての流行が懸念される。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・燃料や原材料の価格が再び上昇しており、一層の深刻な状況が予想される。
	悪くなる	
	スーパー（経営者）	・円高など景気の不安材料が影響して、小売業界では1品価格の下落が懸念される。
	スーパー（経営者）	・新政権の景気対策は不透明であり、公共投資の見直しなどで地元の建設業界は停滞が予想される。また新型インフルエンザの流行により、生活防衛型消費が強まる。
	衣料品専門店（経営者）	・受注生産の予約は低迷しており、当分回復が見込めない。
	衣料品専門店（店長）	・上期決算の悪化により、冬のボーナスなど個人所得が減少し、個人消費の落ち込みが予想される。
	旅行代理店（従業員）	・新型インフルエンザの流行により、旅行申込の減少が懸念される。
	タクシー運転手	・平日の昼間、40～50代で仕事に就いていない人を街角で多く見かけるようになり、今後も労働環境は悪化が予想される。
	住宅販売会社（従業員）	・高齢者宅のリフォーム件数は増えているものの、新築の受注は今後も低迷が続く。
企業 動向 関連	良くなる	-
	やや良くなる	
	食料品製造業（経営者）	・行楽期や年末にかけて、高速道路料金引下げの効果が続き、今後も販売量の増加に期待できる。
	輸送業（経営者）	・一部の得意先では、製品の受注回復の情報がある。
	広告業協会（役員）	・ショッピングセンターの新規出店のほか、明るさのみえる自動車販売店や不動産業による、広告の受注は増加する。
	広告代理店（経営者）	・前年末から広告予算は引き締められているが、今後は受注の増加が見込まれる。
	変わらない	
	農林水産業（従業者）	・りんごの作柄が順調であり、今後も前年並みの売上が期待できる。
	食料品製造業（経営者）	・平日の売上は低迷しており、今後も売上の厳しい状況が続く。
	食料品製造業（総務担当）	・家庭での消費量は前年並みで推移するが、原料資材の値上がりにより、今後は収益が悪化する。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・一部企業では底打ちという話も聞くが、中小企業の回復には時間がかかる。
	建設業（経営者）	・今後はリフォームや新築工事の受注が少なく、厳しい状況は続く。
	建設業（企画担当）	・今後も設備投資を控える状況がしばらく続く。
	通信業（営業担当）	・相変わらず得意先との契約維持は厳しい状況で、今後も明るい兆しはみあたらない。
	金融業（広報担当）	・改善の傾向にはあるが、一部企業の微弱な動きにとどまっており、全体をけん引する動きには程遠い状況である。

	経営コンサルタント	・ 県知事選挙後も先行きは不透明である。	
	司法書士	・ 不動産取引が減少しており、今後も登記の依頼は低調に推移する。	
	公認会計士	・ 得意先の業績は前年に比べて売上が低迷しており、今後も厳しい状況は続く。	
	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・ 働き盛りの世代は、特に生活に余裕がなく、景気や生活の先行きに不安があるため、今後も消費の低迷が続く。	
	その他企業〔管理業〕（従業員）	・ 大量に発生する失業者は再就職先を見つけられず、景気の低迷は当分続く。	
	金属工業協同組合（職員）	・ 今後は納期やコストダウンの要請が更に厳しくなるとともに、受注量の減少が予想される。	
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・ 失業率の悪化と個人消費の低迷により、景気の落ち込みが予想される。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・ 円高が進行し、また環境対応車特需の反動減が予想され、自動車部品の受注は減少する。	
	電気機械器具製造業（企画担当）	・ 売上の半分は輸出製品が占めており、今後も円高が進めば売上の悪化が予想される。	
	建設業（従業員）	・ 公共事業の今後の方針が決まるまで、様子見の状況が続く。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・ 購読部数、チラシ折込件数共に減少傾向が続いており、底が見えない状況である。	
	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・ 繁忙期の年末にかけて飲食店の不振が予想され、売上は悪化する。	
悪くなる	コピーサービス業（経営者）	・ 総選挙後、自治体や民間からの受注が停止しており、売上は落ち込む。	
	その他企業〔企画業〕（経営者）	・ 新政権の住宅や環境に関する政策が不透明なことから、得意先住宅会社の受注は停滞する。	
雇用関連	良くなる	-	
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 県知事選挙後は、大規模工場の移転が本格化するなど、求人広告の増加が期待できる。
		職業安定所（職員）	・ 今後も求人数は少ないものの、雇用調整や解雇者は減少する傾向にある。
変わらない		人材派遣会社（社員）	・ 得意先は規模の縮小が相次いでおり、今後も派遣求人数は増加する要因が見られない。
		人材派遣会社（社員）	・ 地方の支店などを閉鎖する企業は今後も続く。
		人材派遣会社（社員）	・ 今後も派遣求人数の低迷は続き、新たな産業などの雇用創出に期待する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 一部業種で求人数を増やしているが、今後も求人数の低迷は続く。
		職業安定所（職員）	・ 日々の求人件数が回復傾向にあるものの、今後の回復を示す確かな情報はない。
		職業安定所（職員）	・ 有効求人倍率は底を打って回復傾向にあるものの、有効求人数は依然として減少傾向が続いており、今後も予断を許さない状況が続く。
		職業安定所（職員）	・ 生産の回復している企業もあるが、円高傾向など先行きは不透明であり、雇用においては厳しい状況が続く。
		職業安定所（職員）	・ 今後も企業整備の相談があり、求人数の増加する要因がみあたらない。
		職業安定所（職員）	・ 今後、新たにワークシェアに取り組む企業の増加は見込めない。
		職業安定所（職員）	・ 新規求人数に増加の動きはあるものの、依然として前年を下回っており、新たに雇用調整を実施する企業からの相談も続いている。
やや悪くなる		アウトソーシング企業（社員）	・ 自治体からの業務の受注は、今後も低迷が続く。
		職業安定所（職員）	・ 製造業の生産は低調で、雇用調整を実施する事業所が増加傾向にあるため、今後も景気回復の兆しはみられない。
悪くなる		人材派遣会社（社員）	・ 人材派遣の規制が強化され、今後人材派遣の求人が減少する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 新型インフルエンザの流行の懸念があり、景気はさらに悪化する。